



ホームページは
コチラから

地域と共に生きる はぐくむ 育ち合う

本校は、昨年度14年ぶりに双葉郡への移転・再開を果たしました。現在は榎葉町の新校舎で小学部13名、中学部5名、高等部16名、計34名の児童生徒が元気に学んでいます。今後は、地域に根ざした教育活動の実現に向けて、地域の方と連携・協力しながら教育活動を進めていきます。



今年度から、榎葉小学校と交流及び共同学習に取り組んでいます。みんなでバレーをしたり、学校探検をしたりして交流を深めました。

小学部

小学部では、双葉郡に帰還して初めての運動会を行いました。双葉8町村の名所・名物を盛り込んだ競技を実施しました。

中学部



榎葉中学校特別支援級との交流及び共同学習で、本校の新校舎探検とポッチャを行いました。楽しいひと時を過ごしました。

今年度から農業学習がスタートし、近隣の地域の方の畑をお借りして、野菜の栽培をしています。

高等部

今年度から、ふたば未来学園高等学校との交流及び共同学習が始まりました。第1回では、アイスブレイクやモルックに取り組みました。



あけび祭

小学部

小学部は、得意なことの発表や『山の音楽家』の身体表現・合奏の発表をしました。

中・高等部

中・高等部は、作業製品販売を行いました。一つ一つ丁寧に製作した製品をたくさんのお客様にご購入いただきました。

今年度のふるさと創造学では

中学部

中学部では、「地域とのつながりのある学習について」という内容で今年度の学習内容をまとめました。「地域のひととの交流学習」や「学校周辺の地域施設を活用した学習」、「地域の学校との交流及び共同学習」の3つの内容について深めました。

高等部

大きなつみもを取れましたよ!!
嬉しいも・いも煮会が楽しみなぁ。

高等部では、「地域とのつながり」というテーマで今年度の学習を進めてきました。「農業学習」や「美化活動」、「地域の学校との交流及び共同学習」の3つの内容について深めました。

ふたばの取組TOPICS

ふたばの地域学校協働活動



双葉郡の学校は、多様な主体と連携した取組で積極的に地域との関わりを深めています。

はやくたべて
みたい!

いもほり体験

ふたば支援学校×福島しろはとファーム

双葉郡地域学校協働本部

2015年に発足。双葉郡8町村の地域コーディネーターが連携して地域や企業団体との協働を進めるために立ち上げた、双葉郡の学校の「応援団」です。
学校のニーズに合った外部講師の招へい等、町村の垣根を越えて情報を共有し合いながら、子どもたちの学びの場を広げています。

「ふたばの教育」は、双葉郡の子どもたちの笑顔、各校の特色ある取組、8町村で連携した活動を伝える広報誌です。8町村教育委員会を中心に構成する「福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」が発行しています。

ふたばの教育

の感想をお聞かせください!

ご感想や双葉郡の子どもたちへの応援メッセージはこちら!



各町村の学校・教育に関するお問い合わせ

- 浪江町教育委員会 ☎ 0240-34-5710
- 葛尾村教育委員会 ☎ 0240-29-2170
- 双葉町教育委員会 ☎ 0246-84-5210
- 大熊町教育委員会 ☎ 0240-23-7193
- 富岡町教育委員会 ☎ 0240-23-7555
- 川内村教育委員会 ☎ 0240-38-3805
- 榎葉町教育委員会 ☎ 0240-23-5515
- 広野町教育委員会 ☎ 0240-27-4166

双葉郡全体の取組や本誌に関するお問い合わせ

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 事務局
(公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構)
〒960-8043 福島県福島市中町1番19号 中町ビル6階
TEL:024-581-6897 FAX:024-581-6898
HP: <https://futaba-educ.net/>

ふたばの教育 2026 春号

2026年2月24日発行
発行: 福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会
編集: ICT活用・広報委員会(委員長: 南郷市兵(大熊町立学び舎ゆめの森校長))
執筆・写真: 双葉郡内各校
撮影(P6~7): フィリップ・ジェリマン(双葉町外国語指導助手)
アンソニー・バラード(双葉町外国語指導助手)

ふたばの教育

vol.16
2026 春号

特集1: ふたばのせんばい

特集2: ふたば生徒会連合が紹介! 今年の修学旅行の行き先は?



「ふたば、ひろく。」
～やさしくつながる、希望のまなざし～



ふたばのせんぱい

福島大学特集 Interview!

双葉郡の学校を卒業した子どもたちは、進学したり、就職したり、様々な分野で活躍のフィールドを広げています。今回は志賀 瑚々呂さんと遠藤 大翔さんに、双葉郡の学校での思い出、将来の夢についてインタビューしました！

「自分でできる」と思えるようになったことが、探究活動から得た一番大きな力。



Voice 04

インタビューフルバージョンはこちらから



しが 瑚々呂さん 23

常勤講師

福島県いわき市出身。福島県立ふたば未来学園高等学校、福島大学人間発達文化学類卒業。現在は常勤講師としていわき市内の中学校で勤務。教員採用試験に合格し、4月からは新採用教諭としてのスタートを切る。

Voice 05

えんどう ひろと 遠藤 大翔さん 22

福島大学人間発達文化学類4年生

福島県川内村出身。川内村立川内小学校、川内中学校、福島県立磐城高校卒業。卒業後、福島大学へ進学し、スポーツと地域の関わりについて研究している。



インタビューフルバージョンはこちらから



小6の時のアイデアが、村の復興の一助に。

今の仕事とその仕事を選んだきっかけは？

いわき市内の中学校で英語の常勤講師として特別支援学級を担任しています。当初は子どもたちとの関わりに悩み、泣いてばかりの日々でしたが、経験を重ねる中で「先生って楽しい!」と心から思えるようになりました。

教師を目指したのは高校時代の恩師の影響です。勉強が疎かになっていた私を、時に厳しく、常に温かく見守ってくれた先生方に憧れ、「私もそんな先生になりたい」と今の道を選びました。

ふたば未来学園高校はどんな学校？

第一志望の県立高校に落ちてふたば未来へ入ったのですが、結果、心から良かったと思っています。学習面でも先生方のレベルが高く、新しい教育が実践されている環境で学べたのは本当に幸運でした。選択肢が多く、自分が学びたいことを追求できる機会が豊富な学校だと思います。

「未来創造探究」の思い出は？

福島の風評被害を払拭したいという想いから、パートナーと木戸川の鮭を使った商品開発に取り組み、西野屋食品さん、木戸川漁港さんの協力を得て「鮭フレーク」を完成させました。印象に残っているのは、木戸川漁港の方の「高校生が目を付けて活動してくれたのがうれしい」という言葉です。

福島で頑張る人を支えたいという想いが実を結んだと感じました。この探究活動は、私に、「自分でできる」という大きな自信をくれました。その自信が、大学での留学や、今、教師として生徒の前に立つ自分の支えになっています。

福島大学の思い出は？

地元だから親しみがあり、高校での探究活動を継続できる点にも惹かれ、福島大学を選びました。ただ、高校時とのギャップやコロナ禍もあり、探究にはあまり身が入りませんでした。

思い出深いのは教育実習です。制限の多い中で辛いこともありましたが、生徒が日記に「志賀先生の授業で英語を好きになった」と書いてくれたことが嬉しかったです。4年時にはアメリカへ留学し、世界観が広がりました。

将来の夢は？

「これしかできない」という人間にはなりたくないで、色々なことをやってみたいです。海外に住みたい気持ちもあります。文化が合わないと感じる経験も、他者を受け入れる上で大切だと学んだので、もっと知らない世界を経験していきたいです。

双葉郡の後輩にメッセージを！

後から振り返れば大したことではないので、許されるうちにたくさん失敗を経験してください。ぜひ海外へも行き、知らなかった世界に触れてほしいです。「こうあるべき」という固定観念に縛られず、失敗を恐れず、色々な人がいていいんだと多様性を認められる人になってほしいです。



福島大学では何を学んでいる？

スポーツ健康科学コースに所属しています。福島大学を選んだのは、国立で、地元に近いので親しみがあったこと、「スポーツと地域の関わり」というテーマを学ぶ上で、福島というフィールドは最適な環境だと考えたからです。

今、楽しいのはどんな時？

比較的時間に余裕があるので、自分がやりたいことにどんどん挑戦するようにしています。結構多趣味で、運動はもちろん、読書や旅行が大好きです。そうした趣味を通じて自分の知見を広げるために時間を使えることが、今一番楽しいです。

高校を選んだ理由と思い出は？

勉強も部活もがんばりたいと思っていたので、文武両道を実践している磐城高校を選びました。たまたま見学したラグビー部に入部し、きつくて辞めたいと申し出たこともありますが、なんとか頑張り続けて、3年生の時に全国大会に出場できました。花園のフィールドに立った時の雰囲気は格別で、素晴らしい思い出です。

小中学校の思い出は？

小学生の時に「復興子ども教室」で長崎大学の学生さんと話したことが印象に残っています。

それから、小6の時、前からマラソン大会に参加していて、そこに人が集まるのを目にしてきたので、「人を集めるために川内村でもマラソン大会をやればいい」と村長さんに提案し、その翌年、「第1回川内の郷かえるマラソン」が開催されました。実現するとは思わなかったし、しかもちゃんと人が集まったのが本当にびっくりでした。今でも続いており、小6の時のアイデアが村の復興の一助になっていると感じられ、嬉しい限りです。

小中学校での学びが、大学でどう活かされていますか？

小学生の頃から福島について学ぶ機会が多く、基礎知識が身に付いており、一歩進んだ視点で物事を考えることができている。村の復興の歩みを実体験として見てきた経験も、現在の考えを深める上で非常に役立っています。

将来の夢は？

スポーツは成長できる機会だと思います。個人種目では自分との戦いを通して自己成長できますし、団体種目では他者との関わりの中で社会性や人間関係の築き方を学べます。イベント企画などでスポーツをより身近に、社会に浸透させていき、地域貢献が出来たらと思っています。

双葉郡の後輩にメッセージを！

私自身、小中学生の時に好きだったことや興味があったことが、今の自分につながっていると感じます。読書が好きだったことが今に生きていますし、小学生の頃に復興の一環で色々な場所へ行かせてもらった経験が、旅行好きにつながっていると思います。

小中学生の頃の興味が将来を形作ることがあるので、興味を持ったことはどんどん調べて、挑戦してみてください。



県大会決勝でトライ



小学6年生の私

ふたば生徒会連合が紹介!

今年の修学旅行の 行き先は?

We are team Futaba!



双葉郡8町村立中学校(義務教育学校含む)とふたば未来学園中学校・高等学校の生徒会で構成される「ふたば生徒会連合」では、定期的なオンライン会議など、さまざまな活動とおしてメンバー同士の絆を深めています。

みんなで決めた今年のテーマは「今年の修学旅行の行き先は?」!!



なみえ創成中学校生徒会



2、3年合同で関東方面へ修学旅行に行き、鎌倉の歴史に触れたり、ディズニーランドでアトラクションに乗ったりしました。学年の枠を超えてもっと仲良くなれました。

葛尾中学校生徒会



2・3年生合同で、サンフランシスコ(アメリカ)に5泊7日で行ってきました。現地中学生との交流やホームステイ、観光などを楽しみました。無人タクシーにも乗りました。行く前は不安ばかりでしたが、とても楽しい経験で、英語でのコミュニケーションにも自信ができました。



富岡中学校生徒会



東京ディズニーシーと京都に行きました。ディズニーシーでは、クラス全員で乗ったタワーオブテラーが楽しかったです。京都での班別自主研修では、みんなで協力しながら町を歩いたことが思い出です。



川内小中学園生徒会本部



今年度の修学旅行は、京都・大阪に行ってきました。USJをはじめ、海遊館や清水寺、金閣寺などを観光し、北野天満宮で合格祈願もしました。



檜葉中学校生徒会

私たちは大阪関西万博に行き、国の自然や食べ物など様々なことを学びました。京都やUSJにも行きました。とても楽しかったです。この思い出は一生忘れないと思います。



広野中学校生徒会執行部



私たちの学校では、横浜中華街と東京ディズニーランド、そして東京都内の班別自主研修を行いました。公共機関・施設の利用やマナーについても学ぶことができました。

双葉中学校生徒会本部



私たちは東京へ行きました。ディズニーシーでは、全員でアトラクションに乗り、美味しいご飯を食べ、一日中楽しんだことが1番印象に残っています。またこのメンバーで行きたい!



学び舎ゆめの森生徒会



今年度の修学旅行は、大阪関西万博、京都の清水寺や嵐山、USJに行ってきました。万博では大屋根リングからの景色が綺麗でした。清水寺では今年の漢字を書く森清範貫主とお話しすることができて、仏足跡という普段は入れない場所に入ることができました。

ふたば未来学園中学校生徒会執行部



私たちの学校では、修学旅行の代わりにニュージーランド研修を行っています。この研修は、グローバルスタディという教科の集大成で、現地の生徒との交流や未来創造学で探究してきたことを英語で発表します!

ふたば未来学園高等学校生徒会



高校生生徒会です!今年度の修学旅行では、広島・大阪・京都で3泊4日の日程でした。平和学習や班別研修など思い出に残る修学旅行でした!

Report 1 第8回
双葉郡小学校
絆づくり交流会

2025年7月29日(火)
大熊町立学び舎ゆめの森(大熊町)



213名



昨年に引き続き、大熊町の「学び舎ゆめの森」で開催し、8町村から集まった小学生213名が参加しました。低・中・高学年に分かれて交流活動を行い、子どもたち同士の絆を深めました！

開会式は、中高生実行委員が中心となり、開会宣言。全員で記念写真を撮りました！

絆づくり中高生実行委員代表
インタビュー Q&A

Q1 楽しかった出来事や、心に残っている場面を教えてください。

A1 担当した学年の子どもたちが、自分から「遊ぼう！」と声をかけてくれて嬉しかったし、いっぱい話せて楽しかったです！会うのは初めてだったけど、仲良くなれました！！
中高生実行委員の事前打ち合わせで、違う学校の同年代の子や年上の方と、みんなで一緒にアイスブレイクを考えたことが印象に残っています。

Q2 中高生実行委員をやってみて、できるようになったことはありますか？

A2 年下の子と話すとき、中学生同士が話している言葉だと伝わらない部分もあるので、相手に合わせた言葉を考えて伝えられるようになりました。楽しかったので来年もまた実行委員をやりたいです！

おのであつみ
小野寺 厚美さん(なみえ創成中2年)

Report 2 第10回
双葉郡中高生交流会

★ FUTABA ★
1DAY SUMMER SCHOOL

2025年8月1日(金)
福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)



272名

普段の学校生活では体験できないサマースクールを、今年もふたば未来学園で開催しました。講師は例年どおり「ふたばの教育復興応援団・秋元康さん」のプロデュース！6クラスに272名の中高生が参加しました。

A組 講師：中川 悠介さん
アソビシステム代表取締役
村川 緋杏さん
CANDY TUNE



D組 講師：小杉 善信さん
日本テレビ放送網株式会社顧問



B組 講師：飯田 将太さん
飯田商店店主



E組 講師：日高 竜太さん
BALLISTIK BOYZ Vocal/Performer
奥田 力也さん
BALLISTIK BOYZ RAP/Performer



C組 講師：佐々木 宏さん
クリエイティブディレクター



F組 講師：木梨 憲武さん
タレント、歌手、アーティスト、俳優



Report 3 祝 千支ひと回り！
第12回 双葉郡ふるさと創造学サミット

～ 伝えあい、つながって、
広がるふるさとふたばの学び～

2025年11月29日(土)
福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)

今年も双葉郡の児童生徒がふたば未来学園に大集合！



483名

ふたば
生徒会連合
による
企画運営

オープニング/クロージング・セレモニー

今年のオープニングでは各校の代表児童生徒がサミットに参加する意気込みをステージで堂々と発表。その後、猛獣狩り・じゃんけんハイタッチ・円陣の流れでふたば生徒会連合お楽しみ企画を実施。まわりの大人たちを巻き込みながら、大人も子どもと一緒に楽しめる時間となりました！
クロージングの感想共有では、たくさんの児童生徒が手を挙げて、思い思いの感想を発表してくれました。



学びあいセッション

各校の「ふるさと創造学」の取組を共有し合う学びあいセッション。1セッション30分で、11会場に分かれ、計22セッション実施しました。



今年初！

ふたばトーク

『10年後のふるさとふたば』をテーマに、双葉郡の今とこれらについて、小グループでの対話にチャレンジしました！



みんなの感想は？

自分たちでSNS用の紹介動画などを作っていてすごいと思った。自分たちの地域でもそれを活かそう！

小学生の時に通っていた学校の発表を聞いて良かったです

一年間の成果を様々な学校に伝えられることができてよかったです

伝えることの大切さを実感出来た

自分たちの「双葉郡」を考えられて良かったです

ふるさと創造学とは？

自分の未来を自分で切り拓いていく力を育む探究的な学び、それが双葉郡8町村の小中高がともに取り組む「ふるさと創造学」です。双葉郡をフィールドにそれぞれが課題やテーマを設定して探究するプロセスを通して、自らの考えを深め生き方を見出し、その探究から「学びと持続可能な地域実現の相乗効果」も創出していきます。各校のふるさと創造学で学んだことを、子どもたち同士が互いに伝えあう場が、この「ふるさと創造学サミット」です。

各校からのレポート

ふたばの学校のいま



※福島県立浪江高校、浪江高校・津島校、双葉高校、双葉翔陽高校、富岡高校は2017年3月で休校。

※浪江町立請戸小は閉校後、震災遺構として2021年10月から公開中。

ふたばの教育を知るキーワード

8町村で取り組む「双葉郡教育復興ビジョン」

子どもたちの「自ら未来を切り拓く力」を育むため、双葉郡の各校ではそれぞれの個性を生かしつつ、町村や世代の垣根を越えてつながり、双葉郡独自の魅力的な教育を進めています。

- 1 ふるさと創造学
- 2 地域との協働
- 3 教育を通じた絆づくり

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

双葉郡広野町中央一丁目6番地3
HP <https://futabamiraigakuen-h.fcs.ed.jp/>



ホームページはコチラから

中学校 地域へ、世界へ、グローバルな視点をもつリーダーをめざしています

建学の精神「変革者たれ」のもと、未来創造学やグローバル・スタディ、演劇ワークショップ、哲学対話を通して、未来を拓く学習に取り組んでいます。



※写真は昨年度の海外研修



対話を通して、思考を深める力を身につける『哲学対話』。他者を認める心、多面的・多角的に物事を捉える力も育まれます。



今年度のふるさと創造学では

双葉地区を「第2のふるさと」として思いを馳せ、一人ひとりが見つけた「ふたばのよさ」について探究し、国内外に発信するプロジェクトを行っています。

英語を実際に活用する力を身につける『グローバル・スタディ』。3年生の3月に海外研修でその成果を発揮します。



※写真は昨年度の海外研修

海外研修では授業交流も行います。



協働・創造の力とコミュニケーション力を身につける『演劇ワークショップ』。表現力・発信力にも磨きをかけます。

高等学校 挑戦と創造の舞台、ふたばと共に、輝く未来の一步へ

豊富なプログラムやICTを活用した学習環境、国際プログラムなど、多彩な取り組みを通じて生徒の個性を伸ばし自己実現につなげる教育を展開しています。



自らの地域や社会への関わりを深め、ふるさと創造学の精神を日常生活に取り込んでいます。

今年度のふるさと創造学では

ドイツ研修は単に異文化を体験するだけでなく、将来の進路や国際社会での活躍を考えるきっかけにもなります。



高校1年次では、地域の課題を演劇にする授業が行われます。震災当時の話の語り部活動をされている方々から話をうかがい、創作することで、大きな課題を自分事として捉えることが出来ます。



「双葉祭」は生徒や教職員が一丸となって行う文化祭です。地域の方々や保護者も積極的に参加されます。



ニューヨーク研修では、様々な文化、芸術、ビジネスが交差する場所で研修を行うことで生徒がグローバルな視点を持つことが出来る貴重な機会となります。

浪江町立なみえ創成小学校

双葉郡浪江町大字機世橋字来福寺西73
HP <https://namie.fcs.ed.jp>



ホームページはコチラから

なみえを愛し、みらいに向かって、えがおで生きる!

重点目標「友だちと学ばふ楽しさ気づきなみえっ子」を目指して、全校児童61名の子どもたちが学校生活を過ごしています。



今年も、自分だけのオリジナル「大塚相馬焼」を作りました。



浪江町子ども議会

第3回安全MAPづくり



「デフリンピック2025」のサッカーの試合を観戦し、手話やボードを使って応援しました。



今年度のふるさと創造学では

6年生は、なみえ焼きそばのPR活動として、自分たちが考えたアレンジレシピを「やきそばサミット2025」で発表しました。

浪江町立なみえ創成中学校

双葉郡浪江町大字機世橋字来福寺西73
HP <https://namie.fcs.ed.jp>



ホームページはコチラから

なみえを愛しみらいに向かってえがおで生きる!

開校8年目、全校生徒は26名で、重点目標の「自立・前進 自ら問い 自ら学び 自ら創る」を目指して、学校生活に取り組んでいます。

1年生は新しい浪江町の一面を探るため、町内各地を訪れました。



2年生は、職場体験活動を通して、浪江町から様々なことを学びました。

水道水を活用し、町の魅力を発信する3年生



今年度の海鳴祭は、演舞の演目も増え、披露前は円陣で団結と気持を高めました。



「どうすれば浪江町を訪れる人が増えるだろうか」という疑問から、3年生は2つの班にわかれ活動しました。写真は特産品開発・販売班のPR活動の様子です。

今年度のふるさと創造学では



葛尾村立葛尾小学校

双葉郡葛尾村大字落合字西ノ内50
HP <https://www.katsurao.org/site/es/>



ホームページは
コチラから

自分で考えねばり強く一歩前進

全校児童14名、「自分で考えねばり強く一歩前進」の重点目標に向けて、諦めないでねばり強く、自分の力を伸ばすことができるよう励んでいます。

かつらお恵みの感謝祭で売っている商品は私たちが考えました!



村の人たちと給食を食べながら、葛尾村の思い出を話して交流しました。



一緒に食べるとおいしいね!

地域の高齢者施設で歌ったり、体操をしたりしました。



今年度の
ふるさと
創造学
では

村の伝統芸能の一つである「葛尾三匹獅子舞」について調べました。

葛尾村立葛尾中学校

双葉郡葛尾村大字落合字西ノ内50
HP <https://www.katsurao.org/site/jhs/>



ホームページは
コチラから

スモールステップで、グレードアップ! ～3つの「対話」をツールとして～

全校生徒6名です!葛尾以外からも集まりながら、みんなでなかよく毎日の生活に取り組んでいます。

テーブルマナー教室です。いつもと勝手が違い、ペースがつかみにくかったようです。



初の修学旅行です!不安と期待でいっぱいでした!



全校道徳です。先生方も交えて、真剣な眼差しで参加していました。



今年度の
ふるさと
創造学
では

今年は、「Come on 葛尾～葛尾中生で200人呼び込んでみようぜ!～」をテーマに、葛尾村の魅力を発信する動画を作成し、当日は、「どうしたら葛尾村に来たくなるか?」について、参加者からアイデアをいただきました。

体育の授業です。全校一斉に行っています。人数が少なくても協力しながら楽しく活動しています。



双葉町立双葉南・北小学校

いわき市錦町御宝殿56番地
HP <http://futabanabokusyoto2014.blog.fc2.com/>



ホームページは
コチラから

生き抜く力を身に付けたふたばの子

2014年にいわき市で学校を再開してから、12年目となりました。「聞いて 考え 伝えよう」の重点目標のもと、全校児童16名が仲よく学習しています。

埼玉県加須市立種足小学校の全校生と交流



双葉町の安井ファームでブロッコリーを収穫



今年度の
ふるさと
創造学
では



梅檀祭で個性あふれる発表



ハイアソフのフラガールと
きずなスクール



双葉町を盛り上げるために自分達にできることを探究しています。

双葉町立双葉中学校

いわき市錦町御宝殿56
HP <http://futabajh.blog.fc2.com/>



ホームページは
コチラから

進んで学び たくましく生きる 双葉の生徒

全校生徒13名で、元気に仲良く学校生活を送っています。双葉町の皆さんの温かさに支えられ、のびのびと学習に励んでいます。

1学年 「ふたばフレンズ」の改良



2学年

双葉ダルマガツの考案



3学年

双葉町で開催されるイベントへの参加、企画



双葉町を盛り上げるために自分達にできることを考えて実践しています。

今年度の
ふるさと
創造学
では



双葉町の皆さん、いつもありがとうございます!



大熊町立学び舎ゆめの森

双葉郡大熊町大字大川原字南平2019-1
HP <https://manabiya-yuonemori.ed.jp/>



ホームページは
コチラから

地域とつながる、笑顔の輪

今年度の児童生徒数は61名と昨年度からさらに子どもが増え、学校内での交流も盛んになってきました。引き続き、地域の方々の支えもいただきながら、楽しく学校生活を送っています。



地域の方に教えていただきながら取り組んだ「ニュースポーツ交流会」



地域の方と楽しく体を動かした「スポーツフェスティバル」



姉妹都市であるバサート(豪)との交流も積極的に行っています。



「私と社会のWell-Being」をテーマに、電車や町づくり、木工、アクセサリなど自分の「好き」や「興味」を出発点に探究活動を進めてきました。

今年度の
**ふるさと
創造学**
では



地域の方と協力して調理した「芋煮会」

富岡町立富岡小学校

双葉郡富岡町大字小浜中央237-2
HP <https://schit.net/tomioka/tomioka12es>



ホームページは
コチラから

ふるさとで すくすく育つ 富岡っ子

富岡っ子は、地域の方々に見守られながらすくすくと成長しています。総合的な学習では「富岡盛り上げ隊」としてふるさとのために活動しています。



ねばり強く走ろう！
持久走記録会



地域交流タイムに地域の人と一緒にクラフトを作りました。



福刈り体験
今年も豊作！



移住者が開いたカフェを見学しました。

今年度の
**ふるさと
創造学**
では



Trick or treat! 英語を使ったゲームで交流しました。

富岡町立富岡中学校

双葉郡富岡町大字小浜字中央237-2
HP <https://schit.net/tomioka/tomioka12jhs/>



ホームページは
コチラから

地域とともに、幅広い活動にチャレンジ!

開校4年目を迎え、生徒数も徐々に増加しています。重点目標「ねばり強くチャレンジしよう!」のもと、多様な活動に挑戦しています。



町の伝統文化であるよさこい・太鼓の活動を通して、仲間とのさすなを深めました



高齢者疑似体験を通して、福祉について学びました。



「株式会社ふたば」の皆さんと一緒に、校庭にとみびーを描きました。



地域の方とクラフト教室



長崎大学の先生をお招きし、放射線について学びました。



今年度の
**ふるさと
創造学**
では

学年ごとに「町の魅力を知り、活気づけるためにできること」を考え、文化祭で発表しました。

川内村立川内小中学園

双葉郡川内村大字上川内字沼畑125番地
HP <https://schit.net/kawauchi/kawauchi-c/>



ホームページは
コチラから

未来を創る～ あしたを歩く川内っ子～

義務教育学校ならではの良さを生かして、1～9年生で構成される縦割り班での活動やイベントが多いので、学年を超えた交流が盛んで、仲の良さが特徴的です。



水泳記録会、
ニューレコードに向けて
奮闘中!



文化祭に向けて、全学年でビックアート作成に取り組んでいます。



夏休みに描いた
子どもたちの絵が、
トラックになって帰ってきました!

やさしいまちがみらいをつくる
こどもミュージアムプロジェクト



農業や産業といった今の川内村を知る前期課程を経て、「村をさらに盛り上げるために自分たちにできること」を考える後期課程。8年生は川内の星を生かそうと奮闘しています。

今年度の
**ふるさと
創造学**
では



川内村で開催されるマラソン大会で、子どもたちが全力で応援している様子です。



ネイティブの先生が話す英語を聞いて、スコーン作り体験をしました!

檜葉町立檜葉小学校

双葉郡檜葉町大字下小崎字表入31
HP <https://sites.google.com/fcs.ed.jp/narahaminakita-e>



ホームページは
コチラから

笑顔とチャレンジがあふれるまちならは!

教育目標は「かしこく やさしく たくましく～challenge change～」。
よく聴き、はっきり伝えられるならはっ子を目指し、元気に過ごしています!



リブルン福島へ
見学学習に
行ったよ!



全校児童で行う
業間運動!



檜葉町の特産品!
ゆずの収穫!



檜葉町に住む高齢者のみなさん
と、介護予防運動をしました。



今年度の
ふるさと
創造学
では

檜葉町をもっと魅力的な町に!
～小学生の自分たちができること～

檜葉町立檜葉中学校

双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂2番地の1
HP <https://sites.google.com/fcs.ed.jp/naraha-j>



ホームページは
コチラから

ひとりひとりが全力で挑戦しています。

文化祭、キャリア教育、3Cプロジェクトなど全校生で自分の興味のあることに
トライ(Try)しました。
学年の枠を超えて協力して、たくさんのものを創り上げることができました。



朝ご飯の役割って
なんだろう?

3Cプロジェクト



ダンスする人も見る人も、
みんなが楽しめる
ダンスになってほしい!

3Cプロジェクト



東洋製罐で、グループワークで「フードロスと減らす容器」について話し合っているところです。



檜葉町を「知る」(1年)、「関わる」(2年)、
「つくる」(3年)をテーマに一人一人が興
味のあることを探究しました。写真は、3
年生が校庭で育てたかぼちゃを使ったま
んじゅうを作っているところです。

今年度の
ふるさと
創造学
では



今年も全校生で協力して、充実し
た文化祭となりました。

広野町立広野小学校

双葉郡広野町中央台3丁目1
HP <http://hironosyou.blog.fc2.com/>



ホームページは
コチラから

笑顔と元気で未来をつくる!

「すすんで学び 最後までやりぬこう」を合い言葉に様々なことにチャレンジ
して、全校児童124名で楽しく学校生活を送っています。



みかんの丘でみかん狩り!
給食でおいしく食べたよ。



チェスに初挑戦!(異文化交流体験)



遠足は、桜咲く
ニッ沼公園に
行ったよ!

力を合わせて「みかん」と「気球に乗ってどこまでも」を歌ったよ!



今年度の
ふるさと
創造学
では

広野町を今より住みたい町にするため
に「飲食」「キャラクター」「娯楽施設」
「福祉・自然」の4つのテーマに分かれ
て発表しました。

広野町立広野中学校

双葉郡広野町下浅見川築地12
HP <http://hironochuweb.blog.fc2.com/>



ホームページは
コチラから

個性・多様性・自分の強みを発信!

全国各地から集まった生徒たちと広野町の生徒たちの
ハイブリッド感あふれる中学校です。
個性豊かな仲間たちと日々切磋琢磨しています。



「私が広野町町長選挙に出馬し
たら」という設定で魅力ある町づ
くりをSDGsと絡めて、プレゼン
しました。

今年度の
ふるさと
創造学
では



1学年

文化祭では「私が町長だっ
たら」という設定で広野町を
さらに魅力的な場所にする
ため、様々な案を出しました。



2学年

文化祭では「千と千尋の
神隠し」をモチーフに職業
体験とSDGsを絡め、働く
ことの意義について発表
しました。

